

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年1月8日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

いのちとくらし 壊す政治から、保障させる年に！



安倍自公政権は、日本を「戦争する国」へ変えるとともに、社会保障と税の一体改悪、TPPをはじめとする規制緩和、原発再稼働などをすすめている。しかし、その一方で、国民との矛盾が広がり、社会保障分野でも、改悪に怒り、充実を求めるとりくみが広がっています。多くの方と力を合わせ、社会保障の充実へ転換させる年にしましょう。

さらに、広がる年金不服審査請求

民医連や道生連のとりくみ

「年金減ったので介護給付を減らします」の電話をきっかけに
利用者に働きかけています

勤医協中央区在宅総合センター

12月の年金支給日の後、利用者（80代男性）の妻から、勤医協中央区在宅総合センター（居宅介護支援事業所）に「年金が減って、今までどおり利用料が払えないので、訪問リハビリの回数を減らします」との電話がありました。その男性は、脳梗塞後の後遺症があり、ほぼ寝たきりで要介護5です。妻の「食事は食卓で食べさせたい」との思いから、夫がベッドから車イスへ移動できるように、通所リハビリ）と訪問リハビリ（各週2回）を利用していました。高い介護利用料の上に訪問診療などの医療費もかかります。妻は、役所に苦情の電話もしたそうです。



同センター（通所介護、訪問介護も含め）では、職員会議で不服審査請求のとりくみについて議論しました。利用者（年金生活者）から「年金が下がって困っている」との声をよく聞くなどの意見がだされ、利用者全員（年金生活者）に働きかけることになりました。現在16人から申し込みがあります。利用者の声です。

「年金が下がって、物価が上がった上、消費税があがり、サービス、医療費もあがると、心配で眠れなくなり不安になり、落ちこむ人達も多くなり暗いです。悲しい老人の気持ちを知ってください」

道生連では
229人が作成

道生連でも、全道的に年金の不服申請請求にとりくんでいます。300件以上をめざしていますが、すでに229人が申請書類を作成しました。

室蘭診療所では、連日、待合室でも働きかけ。
柏ヶ丘通所リハビリでは、利用者全員へ申込書を送付

勤医協室蘭診療所では、全友の会世帯に、申請書用紙と記入例を加えたチラシを送付しました。毎日診療所にも申請書類が届いています。また、6日から、年金者組合と共同して、待合室にコーナーを設けています（16日まで）。毎日その場で、10人以上の申請書が作成されています。

また、柏ヶ丘通所リハビリでは、利用者全員に、不服審査支給の申し込み付きのチラシを送付しています。すでに利用者から申し込みがあります。

TPP情勢学習会 「TPP交渉の現状と今後をどう見るか」

1月14日（火） 18:30~20:00/かでの2. 7 1050会議室

報告 平田 靖氏（北農中央会・基本農政対策室課長） 布施恵輔氏（全労連・国際局長）

街頭宣伝は 15日の昼（12:15~12:45） JR札幌駅西側 「紀伊国屋書店前」